

将来像の実現に向けた施策（平成 29 年度新規事業）の提案

No.5

委員名：藤枝理伊子

事業名	5. 尚恵厚生園改築計画No.1 日中活動の利用者支援環境の整備事業
目的	① 尚恵厚生園の日中活動スペース（老朽化）の改築 ② 尚恵厚生園における生活スペース・日中活動スペースのすみ分け
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の日中活動スペースの老朽化が著しく、安全で快適に生活、活動するために、各々の活動スペースを改築したい。 ・現在の寮内が日中活動スペースにもなっているので、利用者さん自身、気持ちの切り替えがうまく出来ない。「通う」という意識を高めたい。 ・感染症が流行すると、他部署からや地域から生活介護を利用されておりご利用できないことにもつながってしまうので、緊急に活動スペースを分けなければならない。
事業概要 （事業全体に係る経費の見込み額）	(ア) 外作業班着替え用のプレハブ建設 【別紙 1：約 200 万円～250 万円】 (イ) 雄飛寮洗濯室、物干し場【別紙 1：約 150 万円～200 万円】 (ウ) 旧ボイラー（雄飛寮）撤去及び跡地への家庭用物置設置 【別紙 1：約 500 万円】 (エ) 和紙班・外作業班（室内活動）のいな穂前空きへの移転 【別紙 2：新築約 ? 万円】 (オ) おもちゃ班の活動スペースの建替え（*外作業班の休憩場所、散歩途中の休憩場所としても使える構造とする。） 【別紙 3：新築約 ? 万円】
期待される効果	(1) 生活スペースと活動スペースのすみ分けにより、1 日中同じ空間で過ごさなくてよくなる。できれば、担当スタッフも分けられると、利用者さんの生活リズムにメリハリが出来る。 (2) 利用者さんが活動スペースに歩いて移動することにより、通う意識が高まる。 (3) 感染症流行時に対応ができる。 (4) おもちゃ班の空間は、花が咲いてとてもリラックスできる。お墓参りに来た方々がちょっと立ち寄っていただける空間にしたい。